



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

☎085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地

釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



腰痛、坐骨神経痛でお悩みの方へ！～体に触れてわかる腰痛～



図1 臀部の圧痛を確認
上殿皮神経障害による腰痛を疑ったらとりあえず押してみることに

2016年04月23日（土）放送

腰痛対策の新常識！



図2 NHK Eテレ
『チョイス@病気になる時』に出演

と返答しました。

腰痛は国民病と言われ、2022年国民生活基礎調査では男女ともに最も多くみられる訴えであり、腰痛を訴えて病院を受診する患者さんは非常に多いです。脳神経外科医なのに腰痛？と思われるかもしれませんが、2010年より、私は上殿皮神経障害に依る腰痛に注目し診断、治療を行っています。上殿皮神経は、直径1～3mmと細くCTやMRIなどの画像では見ることができず、しびれ、痛み等の下肢症状を呈することがあるため腰痛疾患と間違えやすく、間違って腰椎手術が行われると腰椎手術不良例となり難治性腰痛の原因となります。最も大切な事は《本疾患を疑う》ことであり（図1）、あまり知られていないためま

れなものであるが、ちですが頻度は12割と意外に高いです。治療としては神経障害性疼痛治療薬を用い、改善しなければ上殿皮神経ブロック治療を行います。時に難治性腰痛がブロックのみで劇的に改善することがあります。ブロックにより症状は改善するもののその効果が一過性である場合には手術による治療（手術用顕微鏡を用いた上殿皮神経剥離術）を考慮すべきです。神経を専門にしている脳神経外科医だから診断できる腰痛がありません（図2）。時々、ブロック専門医と間違われることがあります。先日、外来でブロック治療をしている患者さんに「先生は外科医だったのですね。」と言われました。私は即座に「昔から脳神経外科医です。」と返答しました。

井須ドクターの診察室

第14回



釧路労災病院
脳神経外科部長
井須豊彦